

# 区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

## 巻 頭 言

### この地域で開業して

池 田 秀 博

(医療法人璃香会 あーべいんクリニック 院長)

平成19年5月開設6月保険診療開始実際の開業である。ここ難波は私にとってあまり馴染みの無い地域での開業でした。

もともと兵庫県で育ち兵庫での勤務であった私、大阪にはほとんど来たことがなく、遊ぶまた勉強会など、ほぼ神戸でしたがちょっとした縁でこの地での開業となりました。

大阪は、この地域だけかもしれませんが、独特の雰囲気のある人たちが集まっていると感じたのは開業してすぐでした。

人懐っこい患者様、悪く言えばあつかましいがあっさりとして後腐れなし、平気で診察料金を値切る人、これが大阪の独特の雰囲気、馴染めるかと思っていましたが、すぐにこの地域になじめていったのは患者様のおかげかと思っています。

というのも、患者様が私がしんどい時に「先生大丈夫、今日しんどそうや、風邪ひいてるんちゃうか」など、風邪をひいている患者様が自分のことよりも私の心配を冗談交じりで声をかけてくれます。このように温かみがあり、また厚かましくもあるアンバランスなところが、この地域のよさであり溶け込むのもあまり時間がかからなかった。

開業して少しすると、クリニックを出て往診を開始している中、いろいろな大阪に出会

うことができました。通天閣・小劇場・飛田新地・三角公園などなど、大阪独特ではほかには見れないものばかり、また五十払いの日では車が多く、人の流れが忙しく見え、来院患者様は少ないという大阪独特の雰囲気を感じました。

ただ何処の地域でも患者様を診察し治療することは同じであり、大阪にはまだほかの地区よりはお医者さんを頼っている雰囲気があります。今までは、当然医療ミスなど無いように防衛して仕事をしてきたような気がし、今までの地域では何か医者がミスをしていないか荒さがしするかのように患者様を感じていたことが多々ありました。当然ミスはいけないことだと思いますが、この大阪は他の地域に比べ人情味があり、あっさりとした人が多い地域だと感じています。

大阪は犯罪の多い町と言われています。去年私は大殺界でありいろいろなことがあり怖い大阪も感じています。

確実に仕事をしていって、この地で頑張っ  
て患者様に認めてもらうには、かなりの時間と覚悟が必要と感じました。大阪に溶け込み、好きになり、大阪人に近づき、初めて患者様を理解し、また理解していただけたと思っています。

年月を重ねるごとに、この町が好きになっているように思えます。



## 理事会報告



### ◎平成24年度 1月定例理事会

日 時 平成25年1月25日〈金〉

午後8時～10時

場 所 浪速区医師会 会議室

#### 協議事項

1. 透析クリニック大正橋の管理医師交代に伴う入会金について <佐久間会長>  
標記クリニックは、24年4月1日付開設、1年以内の管理医師交代になるので、金額について協議願いたい。

協議の結果、1年未満の交代のため、管理医師交代に伴う入会金は徴収しないことに決定。

2. AEDの買い替えについて

<佐久間会長>

医師協同組合より、本会に設置しているAED本体の買い替えの案内があった。内容は、メーカー無償保証期間（購入後5年間）が切れる時期であること、また7年以上が経過すると経年劣化による寿命として定められた耐用期間が切れ、内部部品の劣化が懸念されるところである。医師協同組合が提示している特別価格は20万円である。

協議の結果、医師会として取りまとめた場合の値引き額を交渉し、その結果次第で取りまとめることとした。

3. 保健福祉センターの行う平成25年度乳幼児健康診査等への医師派遣依頼について

<佐久間会長>

例年どおり、区保健福祉センターより標記健診等への医師の派遣依頼があった。

また、平成22～24年度まで依頼がなかった小児科医についても依頼があった。

協議の結果、出務医師を募集することとなった。

4. 保健福祉センターの行う平成25年度精神保健福祉業務への医師派遣依頼について

<佐久間会長>

例年のとおり、標記業務への出務医師派遣依頼があった。

業務内容は、家族教室での講義3回、精神保健ボランティア講座での講師である。

今年度の出務医師は太田幹夫医師であった。また次年度については前田泰久医師に内諾を得ているとのこと。

協議の結果、前田泰久医師に依頼することとなった。

5. 予防接種法改正による7ワクチンの定期接種化を実現するための署名活動の実施について

<佐久間会長>

標記署名活動について、日医より協力依頼があった。

協議の結果、会員へ周知し、協力依頼することとなった。

6. 「若手医師の会」開催（3月2日〈土〉）について

<佐久間会長>

標記「若手医師の会」（協賛 武田薬品工業㈱）を開催したい。

協議の結果、了承。

本会が負担する額については、総務会で再度検討することとなった。

7. 平成25年度の理事会開催予定日について

<佐久間会長>

開催予定日を資料のとおりとしたい。

協議の結果、了承。

## 8. 予算委員会の開催について

＜菱会副会長＞

予算委員会の日程を決めたい。

協議の結果、2月25日〈月〉午後2時に決定。

## 9. その他

### (1) コピー機の切り替えについて

＜徳田理事＞

ヤチョコアシシステム(株)より切り替えの提案(月額リース料同額)があった。

協議の結果、新しいコピー機に切り替えることとなった。

### (2) 外国語ができる医療機関の案内チラシについて

＜徳田理事＞

浪速区保健福祉センターより、標記チラシを作成するにあたり、外国語が出来るかできないかについて、本会ホームページより情報をもとに作成してもいいかとの問い合わせがあった。

協議の結果、了承。ただし、チラシへの掲載の可否について、浪速区保健福祉センターより該当医療機関へ確認していただくこととした。

## 報告事項

### 1. 郡市区等医師会長協議会について

(1月25日〈金〉) ＜佐久間会長＞

次第は次のとおり。

▷ 開会

▷ 会長挨拶

▷ 報告事項

(1) 都道府県医師会長協議会(1月15日)報告の件

▷ 連絡事項

(1) 平成25年度医療機関ならびに勤務医「医師賠償責任保険」団体契約更新の件

(2) 「大阪e-お薬手帳事業」(大阪府薬

剤師会) 実施の件

(3) MRワクチン(3・4期) 接種勧奨依頼の件

(4) 学校欠席者情報収集システム参加依頼の件

(5) 2月度行事・会合日程の件

▷ 閉会

(詳細 略)

### 2. 大阪市医師会連合会委員会について

(1月21日〈月〉) ＜佐久間会長＞

次第は次のとおり。

▷ 連絡事項

(1) 平成24年度大阪市保健事業委託料請求にかかる周知の件

(2) 平成25年度特定健診・保健指導集合契約における受託業務内容確認調査依頼及び大阪市内医師会特定健診・保健指導担当理事連絡協議会開催の件

(3) 麻しんに関する特定感染症予防指針一部改正の周知の件

▷ 協議事項

(1) 平成24年度人権研修会開催の件

(詳細 略)

### 3. 浪速区地域支援調整チーム地域ケア会議について

(1月17日〈木〉) ＜橋村理事＞

▷ 随時地域ケア会議報告

▷ 浪速区地域包括支援センターの相談受付・活動状況

▷ 地域特性、相談内容から見てくること

▷ 平成25年度の予定

(詳細 略)

### 4. 認知症講演会実行委員会(第3回)について

(1月17日〈木〉) ＜橋村理事＞

次第は次のとおり。

▷ 検討事項

(1) チラシ・ポスター配布先確認

(2) 役割分担

- (3) 配布資料の確認
- (4) 当日の流れ確認
- (5) アンケート内容確認

(詳細 略)

#### 5. 本会新年互礼会について

(1月19日〈土〉) <徳田理事>  
スイスホテル南海大阪35階「シェルプルー」において、午後6時より開催した。  
出席者は来賓17名、役員および正・副議長18名、一般会員27名、事務局2名、計64名であった。  
井上英孝衆議院議員、竹下隆府議会議員、森山禎久大阪市会議員、富岡朋治大阪市会議員、玉置賢司浪速区長より祝辞をいただいた。

#### 6. 府医医療情報委員会について

(1月23日〈水〉) <久保田理事>  
次第は次のとおり。  
▷ 開会  
▷ 報告事項  
(1) 大阪府サイバーテロ対策連絡協議会第11回総会(10月5日)について  
(2) 「大阪府医療連携に係る服薬情報管理活用事業」について  
(3) その他  
▷ 協議事項  
(1) 諮問事項について「医療におけるIT活用のあるべき姿について」  
(2) 第25回医療情報に関する講演会について  
(3) 「グーグルマップを用いた医療情報システムの運用」について  
(4) 大阪府医療機関情報システムについて  
(5) その他  
▷ 次回日程  
▷ 閉会

(詳細 略)

#### 7. 郡市区医師会医業経営担当事連絡協議会について

(1月23日〈水〉) <木田理事>

次第は次のとおり。

- ▷ 開会
- ▷ 挨拶
- ▷ 説明

(1) 「平成24年分の確定申告の留意点等について」

大阪国税局 課税第1部 個人課税課  
課長補佐 一瀬圭子

(2) 「平成24年分の確定申告」ならびに諸情勢について

大阪府医師会理事 久禮文雄

- ▷ その他
- ▷ 閉会

(詳細 略)

#### 8. 大阪警察病院「地域医療支援病院運営委員会」について

(1月17日〈木〉) <竹中監事>  
次第は次のとおり。

- ▷ 開会のご挨拶
- ▷ 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率
- ▷ 地域医療連携センター利用状況
- ▷ 紹介元・逆紹介先医療機関リスト
- ▷ その他
- ▷ 閉会のご挨拶

(詳細 略)

#### 9. その他 なし。

#### 次回会議

平成25年2月22日〈金〉 午後8時～



## 3月度学術講演会のお知らせ

3月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：平成25年3月30日〈土〉午後2時～

場所：浪速区医師会 会議室

演題：「電気の流れて理解する心電図」

講師：国立循環器病研究センター

循環動態制御部

室長 高木 洋 先生

## 浪速区医師会 活動の伝言板

平成25年3月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 三歳児健診

- 保健福祉センター

3月28日〈木〉午後1時40分～3時30分

眼科 山尾 信吾

耳鼻科 中村 泰久

### BCG接種

- 保健福祉センター

3月21日〈木〉午後2時～3時30分

工藤俊次郎・北村 栄作

### 急病診療所出務

- 中央急病診療所

3月10日〈日〉準夜17:00～22:00

小池 洋志・松崎 智彦

3月22日〈金〉深夜22:00～30:00

中山 博文

### 浪速区医師会クラブ活動案内

各クラブ活動は下記日程で行っております。多数のみなさま方の参加をお待ちしております。（ときに時間変更される場合もありますので、各部代表まで連絡をお願いいたします。）

囲碁部 毎月第1・3・5（土）  
（川田 信） pm 5:00～



あとがき

S.K.

### 慢性閉塞性肺疾患（COPD）

COPDは喫煙歴のある高齢者に多い疾患であり、我が国の患者数は500万人以上いると云われているが、実際に診断されている患者は20万人程度にすぎない。慢性にゆっくり経過するため重症にならないと受診せず、多くの人がCOPDであることに気づいていないか、あるいは正しく診断されていないことが考えられる。またCOPDの認知度が低い（20％程度）ことも原因である。COPDは今後あと30年ぐらいは増え続けるだろうといわれている。その理由はタバコを喫って20年～30年たってから起きてくる病気だからである。COPDによる死亡は、今後日本のみならず、世界的にも増加することが指摘されている。



COPDは肺に慢性的な炎症がおこり、肺がゆっくりと壊れていく病気で、呼吸機能障害をおこし、労作時の息切れ、咳や痰などの症状が出てくる。これらの症状が出た時にはすでに病気は進んでいるが、気づかずに放置している人が多数いると考えられている。特に喫煙などの有害物質の曝露が気道上皮や肺胞に作用して末梢気道閉塞や肺胞破壊（気腫病変）が生じ、その後恒常的な閉塞性換気障害が起きる。COPDは肺気腫病変主体の「肺気腫型」と肺気腫病変を持たない「非気腫型」の2病型に区別される。喫煙歴のある人は一度肺機能検査を受けてみましょう。

日本呼吸器学会によるCOPDガイドラインによれば、COPDはタバコ煙を主とする有害物質を長期に吸入曝露することで生じた肺の炎症性疾患である。呼吸機能検査で正常に復することのない気流閉塞を示す。気流閉塞は末梢気道病変と気腫性病変がさまざまな割合で複合的に作用することにより起こり、進行性である。臨床的には徐々に生じる体動時の呼吸困難や慢性の咳、痰を特徴とすると定義されている。COPDの診断は気管支拡張薬吸入後のスパイロメトリーで1秒率が70%未満であり、他の気流閉塞をきたしうる疾患を除外した場合にCOPDと診断する。

禁煙はCOPDの症状を緩和し、進行を抑制するのに必須の条件である。COPDを増悪させる最も多い原因は、ウイルス・非定型病原体・細菌などによる気道感染症である。インフルエンザワクチンはCOPDの増悪による死亡率を50%低下させるためすべてのCOPD患者に接種が勧められる。肺炎球菌ワクチンも同様に65才以上のCOPD患者に接種が勧められている。吸入ステロイドはCOPD患者の重症例では急性増悪の頻度を軽減する。長時間作用型 $\beta_2$ 刺激薬と吸入ステロイドの合剤や、長時間作用型抗コリン薬は生命予後を改善させる可能性がある。呼吸困難の増悪に対する第一選択薬は短時間作用性 $\beta_2$ 刺激薬の吸入である。

COPDによる慢性呼吸不全への標準的治療法に在宅酸素療法（HOT）がある。HOTは

生存率の改善とQOL（生活の質）向上に大きく貢献している。またHOTには生存を延長する明確なエビデンスがある。最近HOTの認知度も上がり、その使用には比較的抵抗も少なくなってきた。日常生活の注意点として最も気をつけることは、酸素吸入時の火傷、火災の危険である。酸素吸入時に喫煙をしないことは当然のことであり、酸素吸入時の火気の使用には充分注意するよう指導することが大切である。

COPDは肺の炎症性疾患であるが、肺だけではなくさまざまな全身併存症を呈する全身性疾患として認識されるようになった。COPDは中高年の喫煙者に発症する疾患であるため、肺癌や循環器疾患などに対してハイリスクであることは当然である。他には全身性の炎症、栄養障害、体重減少、骨粗鬆症、睡眠障害、糖尿病、認知症、胃食道逆流症等の併存症がある。これらの併存症があると予後が悪くなる。一般内科疾患患者にCOPD患者が多く潜んでいることから、COPDおよび併存症の早期発見、早期治療が大切である。



目次	ページ
巻頭言	
この地域で開業して	池田 秀博 1
理事会報告（1月開催）	2
3月学術講演会のお知らせ	5
浪速区医師会活動の伝言板	5
あとがき	5

#### 【区医だより】

発行者 佐久間靖博  
編集者 中村泰久 橋村直隆  
印刷所 株式会社 サジ